

管理運営評価シート(令和4年度)

施設名称	むらかみ病児保育センター	評価対象年度	令和 4 年度
指定管理者名	学校法人 北都健勝学園 ・ 社会福祉法人 真心福祉会共同事業体	所管課	こども 課
指定期間	令和2年12月1日～令和7年3月31日(4年4か月間)	評価者(課長)	山田 昌実

1 令和4年度の実績

(1)事業実績

利用実績	利用登録者数157人、総利用者数454人(隔離室利用83人)
サービス向上の取組	研修会等で資質向上に努めると同時に、両法人の強みを生かして全日専門職の不足なく利用者の要望に対応した。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (2年度)	前年度 (3年度)	当該年度 (4年度)	合計	備考
収入	指定管理料	5,074	15,022	15,263	35,359	基本協定額: 67,782 千円
	利用料金				0	
	事業収入				0	
	自主事業収入				0	
	その他				0	
	収入合計 ①	5,074	15,022	15,263	35,359	
支出	人件費	1,919	9,327	10,380	21,626	
	福利厚生費	108	34	64	206	
	事務費	63	202	233	498	
	管理費	517	1,464	1,601	3,582	
	水道光熱費	157	336	245	738	
	修繕料	0	0	0	0	
	使用料・リース料	0	164	0	164	
	手数料・保険料	8	68	295	371	
	委託料	352	896	1,061	2,309	
	事業費	152	226	124	502	
	自主事業経費	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
支出合計 ②	2,759	11,253	12,402	26,414		
収支差額(①-②)	2,315	3,769	2,861	8,945		

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	—	—	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	—	—	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	△	△	地元雇用の充足が難しく、地元以外からの雇用の現状がある。
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	—	—	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある —:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1) 指定管理業務実施上の課題
利用者人数の増加、隔離室の利用により、定数6名をスタッフ3名で担当することが困難な状況の日がある。 理由: 隔離が必要な児童複数、違う病名だとそれぞれ別の隔離室を使用することになる。スタッフ2名が各隔離室を担当することになると、残りのスタッフ1名で静養室を見なくてはならない。静養室に3名児童がいる場合、0歳児や1歳児といった低年齢の児童も多く、一時的に3名を同時に担当することは可能だが、丸1日は困難である。休憩時間の確保が難しい。 一時預りの病児であることから、急性期から慢性期迄の病状で年齢も様々であり、1人ひとり過ごすパターンが違う。利用時間が8:00~18:00MAX利用者が多数ある時は、3名のスタッフがフル勤務している。
(2) 課題解決に向けた取組
R5年1月から応援看護師を採用して対応 あらかわ病児保育センターと連携し応援を依頼 応援看護師及びあらかわ病児保育センターからの応援が不可の場合、同法人運営の看護学校へ応援要請し、専門職が不足することなく対応している。
(3) その他
①利用者からの主な意見や苦情、対応策
むらかみ病児保育センターの看板、入り口、駐車場の案内がわかりにくいとの意見があり、ニュースレターでお知らせし、電話予約の際にも説明を加えている。
②その他
特になし。

4 全体的な評価

(1) 指定管理者の評価
アンケートにより利用者の意見を集め、改善できるものは迅速に改善し対応している。 利用時間の延長、給食の提供等の希望があったが、給食の提供等については病院との連携が必要であること、アレルギーへの考慮やキャンセル時の給食料金発生等の課題が多い。また、利用時間の延長は、スタッフの勤務時間の延長、人員補充等の検討が必要であり、すぐに対応するのは難しい状況である。
(2) 施設所管課の評価
新型コロナウイルスの影響で利用者数が少なかった令和3年度までと比べて令和4年度は利用者数も増えたが、ほぼ計画どおりに運営が行われており、きめ細やかな対応を心がけ、病児が快適かつ安全に利用できるよう、サービスの向上を図っている。また、リピーターも多く、利用する保護者の評価も高いことから、適正に運営・管理されていると考える。
(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)